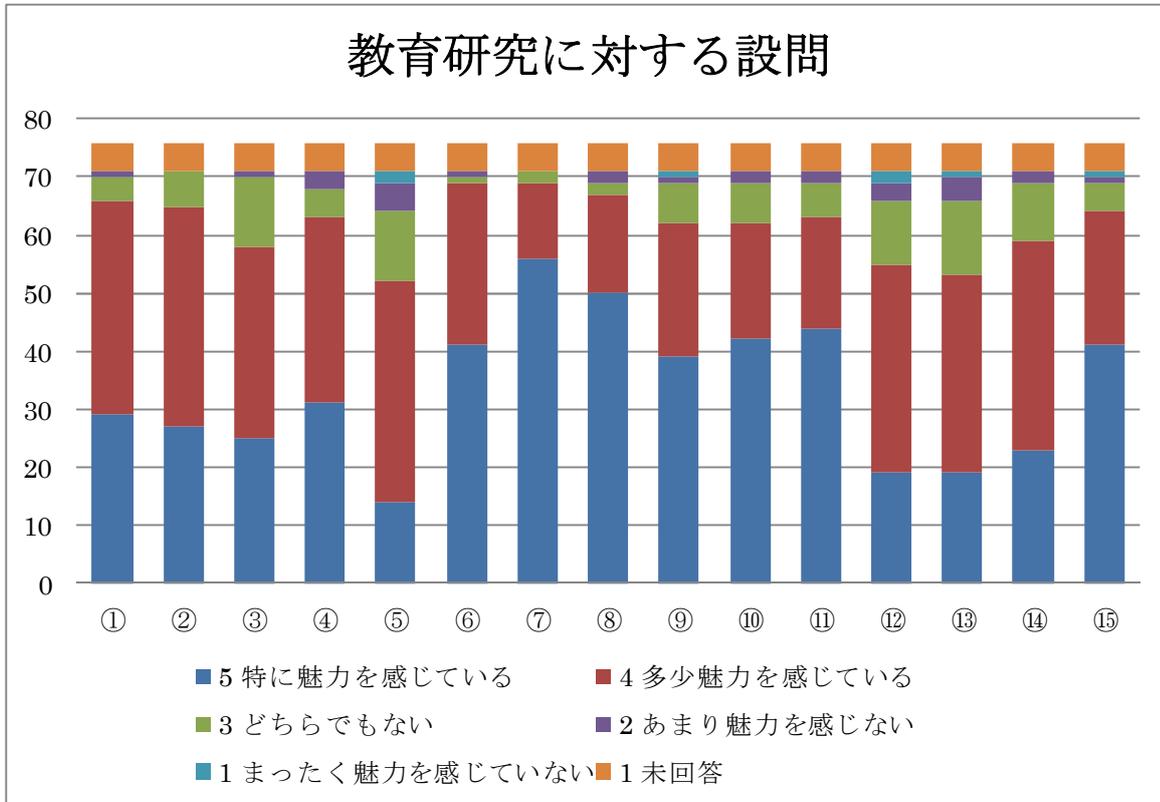


【子ども教育学科】

平成25年度 新入生魅力度調査アンケート

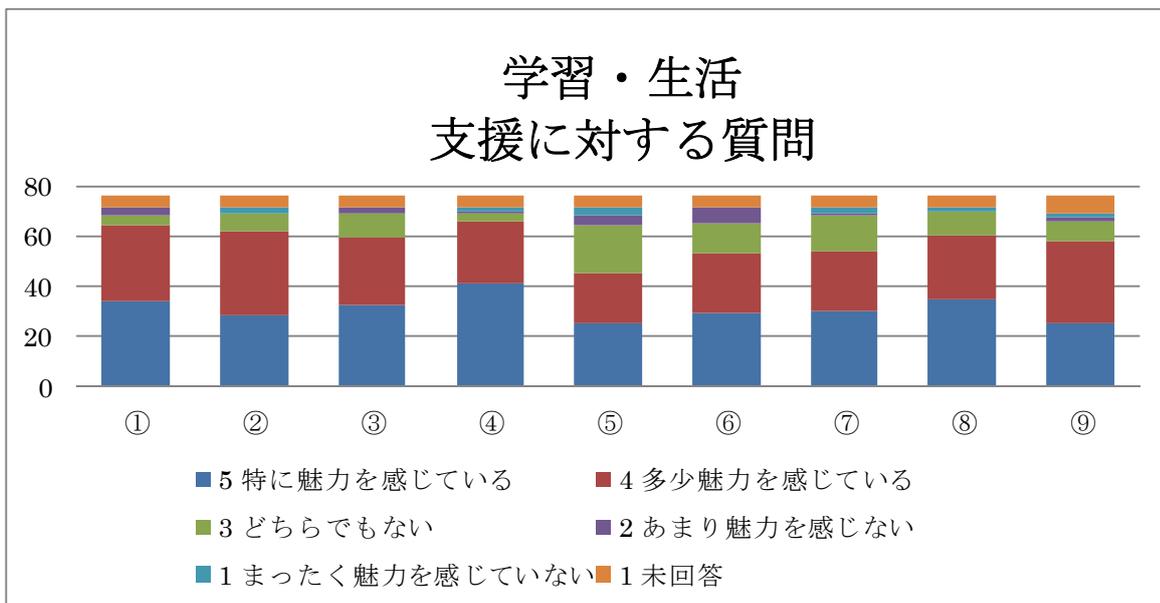
(7月9日(火)「保育原理」の際に76名を対象に実施)

【教育研究に対する設問】



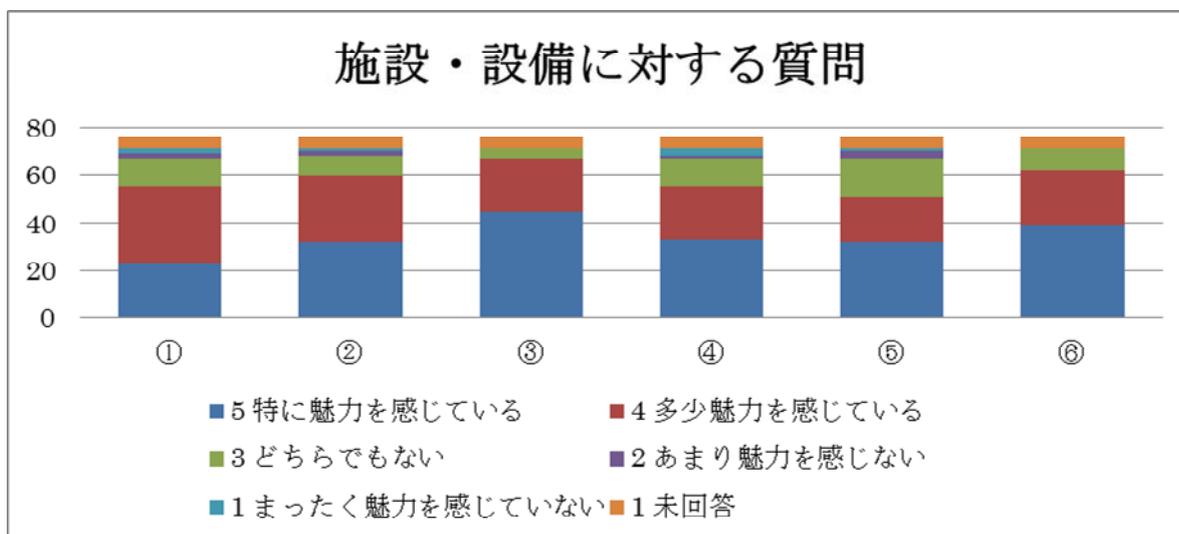
「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、「三資格免許取得」が最も高く、次いで「連携学校園方式」、「子ども支援地域活動」、「ホーム制や少人数ゼミ」、「学科の方針」、「夢を叶える塾」の順であった。本学科に固有な取り組みに対して魅力度が高くなっている。

【学習・生活支援に対する質問】



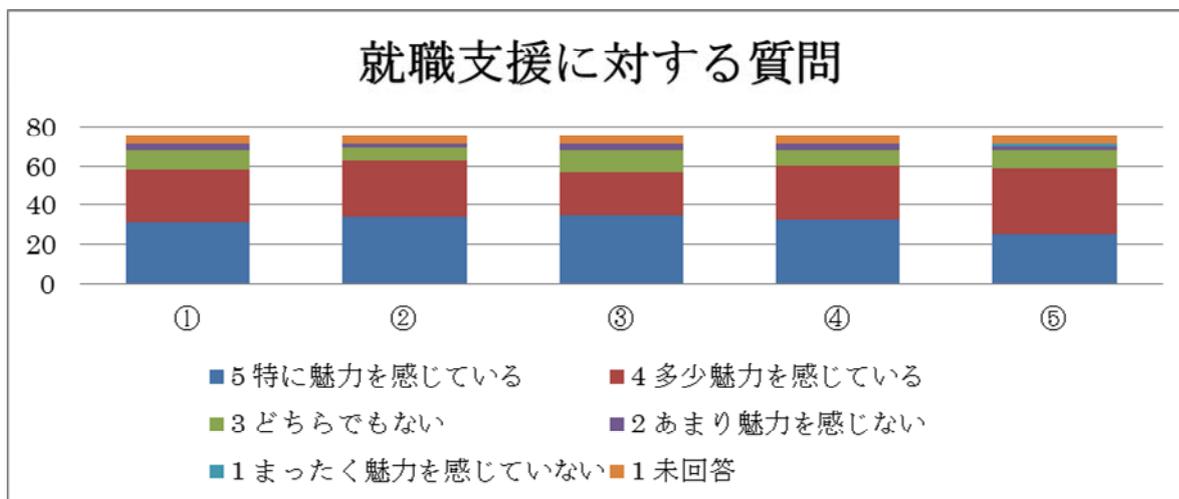
「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、最も高かったのが「生協売店・食堂」で、次いで、「奨学金・特待生制度」、「学生支援課」、「保健室・学生相談室」、「学校行事」の順であった。学生生活に密着している項目が総合的にみてポイントが高い。

【施設・設備に対する質問】



ハード面について「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、第1位が「清潔で機能的、快適な校舎」、次いで「憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)」、「スクールバスや駐車場」と続く。建物自体が新しく、駐車スペース等十分な広さが確保されていることは学生にとって魅力的な環境だと言える。

【就職支援に対する質問】



「特に魅力を感じている」のポイントは、5項目中、4項目においてあまり違いがみられない。大学に入学して間もない時期ということもあり、就職支援を実感する機会が少ないためであろう。

4. 平成25年度 卒業生満足度調査アンケート

(34名に対して実施。本学科での初めての実施である。)

【教育研究に対する設問】

平均値が4.0ポイント以上の項目が15項目中8項目あり、最も高かったのが「三資格免許取得」、次いで「南九州の環境」、「高い能力を持った教員」、「ホーム制や少人数ゼミ」、「学科の方針」の順である。新入生の魅力度では上位となっていない「南九州の環境」、「高い能力を持った教員」のポイントが卒業生の満足度では高くなっている。4年間の

勉強の中で実感していったのだと思われる。

【学習・生活支援に対する質問】

平均値が4.0ポイント以上の項目はなく、どの項目も3ポイント台である。そうした中、平均値ポイントが最も高かったのは「担任制度」であった。身近な教員によるサポート体制は学生が大学生活を送る上で心強いものとして実感されていると言える。「奨学金・特待生制度」については「特に魅力を感じている」が9項目中最もポイントが高かったが、「多少魅力を感じている」のポイントは最も低くなっており、実際に制度を利用したかどうかで、満足度に違いが生じていると言えよう。「マンション等の斡旋」は「どちらでもない」のポイントが最も高くなっている。大学としての取り組みの現状や今後のあり様等について検討する必要があるのではないかと思う。

【施設・設備に対する質問】

平均値が最も高かったのは、「清潔で機能的、快適な校舎」、次いで「インターネット環境の充実」である。後者は、学年進行に伴ってインターネット活用の必要性が増してきたことから満足度が高くなったと言えよう。インターネット活用の機会の増大や学生数の増加に見合った一層の設備の充実を検討することが必要ではないだろうか。

【就職支援に対する質問】

平均値が4.0ポイント以上の項目はなく、どの項目も3ポイント台であった。そうした中、「就職課による支援」、「公務員・教員就職のための講座」が比較的ポイントが高かった。「Uターン就職サポート」や「インターンシップ制度」については「どちらでもない」のポイントが高くなっており、学生にとって身近なものとしてはとらえにくいしくみなのかもしれない。改善の余地がありそうである。